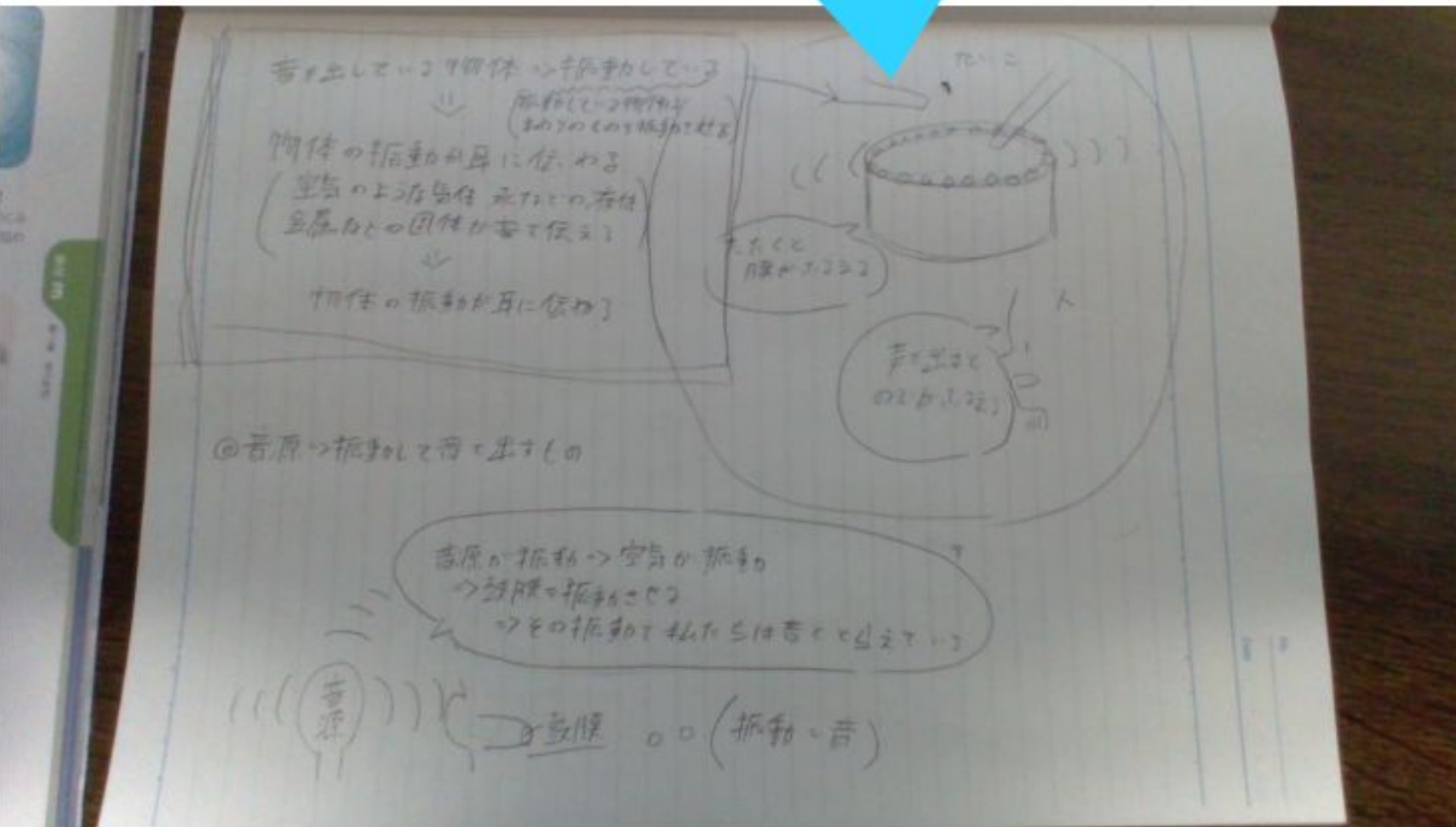


前の時間の振り返り

物体が、振動して音が出る。音を出す物体を音源という。音源が振動することで音が出て、周りの空気、水などの物体が音の振動を伝え、耳の鼓膜を振動させ、音を聞くことができる。

素敵なノート

言葉だけでなく、図をつかってまとめているのが大変良い。



最初に確認（授業の流れ）

④動画を見る。

①課題カード（黄色）を見て、課題を知る。

②解決カード（青色）を参考にし、課題の答えを考える。

③課題カード（黄色）に課題の答えをまとめに書く。

④まとめを書いた課題カードのみを、1組は提出BOX 1に、2組は提出BOX 2に、3組は提出BOX 3に提出する。

（授業開始20分後には、全員のカードを見れるようにします。）

⑤適用（赤色）を行う。

9 : 0 0 ~

動画の最初の1分間を見よう。



※HPからの参加の人は、NHK for school と検索し、理科の「音」の動画を探してください。

課題 花火の音が遅れて聞こえてくるのはなぜか。

まとめ

(直接打ち込むか、自分のノートに書いて、写真をとったものをのせる。)

1組は提出BOX 1 に、2組は提出BOX 2 に、3組は提出BOX 3 に提出

課題の解決方法

- ①教科書 P169から探す。
- ②NHK for schoolを最後まで見る。



音NHK

適用

下の「音の確認問題」を解く。

解き終わったら、「結果の表示」をし、答え合わせをしてください。なお、間違えた問題があれば「ありがとうございますページに戻る」を押し、「別の回答を送信する」を選び、2回目に挑戦してもよいです。回答は保存しなくてよいです。）



音の確認問題